

活力ある健康長寿社会実現のための「群馬モデル」(概要)

<健康寿命：目標：男性73年 女性76年(2025年)> (2016年現在：男性72.07年 女性75.20年)

● 基本方針 EBPM (合理的根拠に基づく政策立案) の推進

[Evidence Based Policy Making : エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング]

◇群馬県は、**生涯を通じた健康づくり**を強化し、**県民の主体的な取組**を進めるとともに、**フレイル**の概念を踏まえた健康づくりを**社会全体**で展開します

◇群馬県は、健康無(低)関心層も含めた**すべての県民が自然に健康になれる環境づくり**を推進します
このため、群馬県は、県民、市町村、関係団体、関係機関、大学等と協力しながら、本県ならではの更なる取組を「**群馬モデル**」4つの戦略により実施します。

「群馬モデル」4つの戦略

戦略1 フレイル予防を軸とする健康づくりのパラダイム転換

- フレイルの概念を踏まえた新たな社会システムの開発
- 健康な高齢化(エイジング度(仮))の科学的・客観的な検討

モデル事業の実施

戦略2 社会参加・多世代交流の機会が確保できるまちづくりの推進

- 高齢化に適したエイジフレンドリーシティ概念の啓発
- 健康に関するデータ分析を強化しエビデンスに基づく施策推進

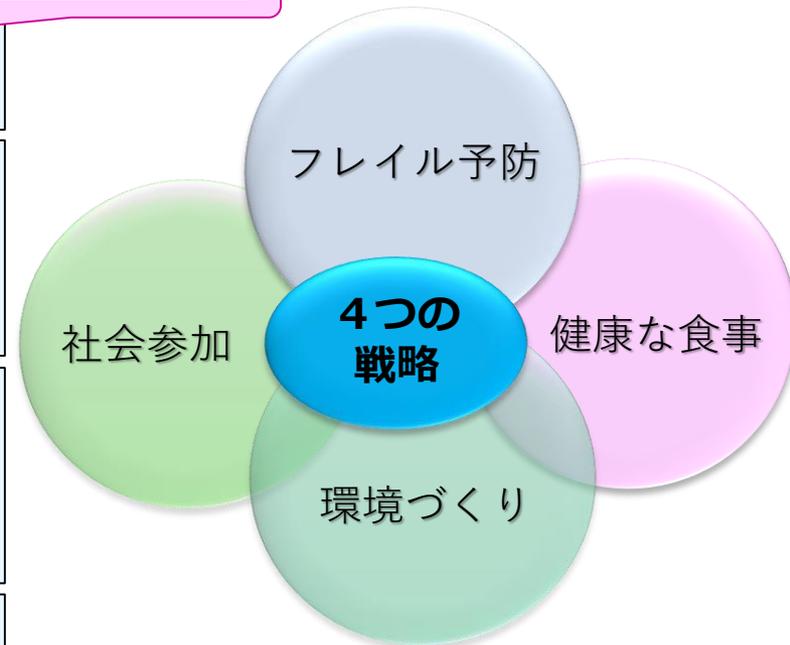
戦略3 健康な食事と社会経済の持続可能性への視点からの食環境整備

- 健康な食事へのアクセス拡大
- 健康をめざした根本的な食環境整備の推進

戦略4 健康無(低)関心層を含めたすべての県民が自然に健康になれる環境づくり

- ゼロ次予防の推進
- 行動変容を促す仕掛けづくり

健康ポイント制度の創設



※最終報告書はHPへ掲載しています。
https://www.pref.gunma.jp/02/d29g_00311.html